

夜間、休日の救急医療体制について

診療曜日・時間帯及び医師の配置 (検討案)

「統合新病院建設基本計画(原案)」において、統合新病院内に初期救急医療センターを併設することとした



加賀市の救急体制として、1次救急から2次救急までを統合新病院において適切に対応する



初期救急医療センターの診療曜日・時間、医師の配置について、これまでの議論を踏まえ、当直との関係から検討案として4つのパターンを作成(P4~P5)

【検討案の前提条件】

- 統合新病院の当直は、基本構想で想定した2人体制とする
- 現在の「医師会休日診療」は統合新病院において継続される
- 仮に、夜間も初期救急医療センターの診療を行う場合の診療時間を22時頃までとする

時間外における来院患者数の目安

青字は初期救急、赤字は2次救急に該当するとして想定

【休日の日中】

	患者の区分	説明	人数	計
1	医師会休日診療の患者	H23年度実績の平均値	5.8人/日	30.8人/日 (午前: 21.8人/日 午後: 9.0人/日)
2	現2病院の当直医師の診療患者	H23年度実績の平均値		
	① 救急搬送患者		2.5人/日	
	② その他(ウォークイン)	午前: 14.3人 午後: 7.3人	21.6人/日	
3	市外救急搬送患者のうち軽症・中等症の患者	H23年実績で416人/年 1.14人/日を、時間帯別の「救急出動件数」の割合をもとに、日中、夜間で半数ずつと想定	0.6人/日	
4	南加賀急病センターを受診した加賀市の患者	H23年度実績で、休日日中は概ね2~3人/日。午前1人、午後1人を想定	2.0人/日	
5	統合新病院の新規開院に伴う患者の増加	移転新築後の外来患者の増加の事例を参考に時間外患者の増を想定(1、2-②、4の合計29.4人/日の5%。午前午後で半数ずつ)	1.4人/日	

【夜間(全曜日)】

	患者の区分	説明	人数	計
1	現2病院の当直医師の診療患者	H23年度実績の平均値		3.6人/日 10.7人/日 <small>(22時まで:7.3人/日 22時以降:3.4人/日)</small>
	① 救急搬送患者		3.0人/日	
② その他(ウォークイン)	22時まで:5.8人 22時以降:3.4人	9.2人/日		
2	市外救急搬送患者のうち軽症・中等症の患者	H23年実績で416人/年 1.14人/日を、時間帯別の「救急出動件数」の割合をもとに、日中、夜間で半数ずつと想定	0.6人/日	
3	南加賀急病センターを受診した加賀市の患者	H23年度実績で、夜間は概ね1人/日(南加賀急病センターは22:30まで)	1.0人/日	
4	統合新病院の新規開院に伴う患者の増加	移転新築後の外来患者の増加の事例を参考に時間外患者の増を想定(1-①、3の合計 10.2人/日 の5%。22時までの患者数に加える)	0.5人/日	

【土曜日日中】








	患者の区分	説明	人数	計
1	現2病院の当直医師の診療患者	H23年度実績の平均値		3.2人/日 18.0人/日
	① 救急搬送患者		2.0人/日	
② その他(ウォークイン)	午前:5.3人 午後:5.9人	11.2人/日		
2	1に含まれない時間外患者の想定(山中温泉医療センターの午前の分)	午前中に外来診療をしているため、時間外患者の集計に含まれていない。その分が時間外の患者として増加の可能性があるため、日曜日午前の患者数と同数で試算	0.6人/日 6.0人/日	
3	市外救急搬送患者のうち軽症・中等症の患者	H23年実績で416人/年 1.14人/日を、時間帯別の「救急出動件数」の割合をもとに、日中、夜間で半数ずつと想定	0.6人/日	
4	統合新病院の新規開院に伴う患者の増加	移転新築後の外来患者の増加の事例を参考に時間外患者の増を想定(1-②、2の合計 17.2人/日 の5%。午前午後で半数ずつ)	0.8人/日	

診療曜日・時間帯、医師の配置の検討案

来院患者数の目安
青字：ウォークイン等
赤字：救急搬送








①基本形（現在の医師会休日診療をそのまま継続）

- ・初期救急医療センターの診療時間は、休日午前のみとする
- ・それ以外の時間において、軽症患者の診療場所として当直医が使用することも考えられる

		月～金		土		日・祝	
		初期	当直	初期	当直	初期	当直
昼間	午前	—	—	—	18.0人 3.2人 	21.8人  協力 =	9.0人 3.1人 
	午後	—	—	—	—	—	10.7人 3.6人 
夜間		—		—		—	

②現在の医師会休日診療を拡大














- ・初期救急医療センターの診療時間を休日午後まで拡大
- ・一人の医師で診療する場合のほか、午前と午後で交代することも考えられる

		月～金		土		日・祝	
		初期	当直	初期	当直	初期	当直
昼間	午前	—	—	—	18.0人 3.2人 	30.8人  協力 =	3.1人 
	午後	—	—	—	—	—	10.7人 3.6人 
夜間		—		—		—	

③夜間も診療

(夜間2人体制＝当直医による初期救急医療センター兼務)














- ・休日日中に加え、夜間も初期救急医療センターを開く(夜間も診療時間を定め、周知)
- ・夜間の初期救急医療センターの診療時間中は、2人体制の病院当直医の一方が担当(夜間は2人体制)

		月～金		土		日・祝	
		初期	当直	初期	当直	初期	当直
昼間	午前	—	—	—	18.0人 3.2人 	30.8人 	3.1人 
	午後	—	—	—		 協力 = 	
夜間		 (22時頃迄)		 (22時頃迄)		7.3人  (22時頃迄)	3.4人 3.6人 

④夜間も、当直医に加え初期救急担当医を配置

(夜間は、一時的に3人体制)

- ・休日日中に加え、夜間も初期救急医療センターを開く(夜間も診療時間を定め、周知)
- ・2人体制の当直に加え、夜間の初期救急医療センター当番の医師を配置

		月～金		土		日・祝	
		初期	当直	初期	当直	初期	当直
昼間	午前	—	—	—	18.0人 3.2人 	30.8人 	3.1人 
	午後	—	—	—		 協力 = 	
夜間		 (22時頃迄)		 (22時頃迄)		7.3人  (22時頃迄)	3.4人 3.6人 

医師の負担について

当番の現状と想定される変化

- ・医師会休日診療
- ・病院の当直業務

◆医師会休日診療

(H24.4現在)

参加医師数		19名
内訳	内科	14名
	整形外科	2名
	耳鼻科	2名
	脳神経外科	1名



休日数:約70日/年
当番回数:3.7回/年
3~4カ月に1回程度



初期救急医療センターで継続する場合

- ①これまでどおり休日午前のみとした場合
- ②休日の午後まで拡大し、1人の医師で通して担当した場合
ペースは現状と変わらない
- ③休日の午後まで拡大し、午前と午後で交代制をとる場合
倍のペースで回る(1月半に1回程度)

◆2病院の当直医師数

(H24年4月～6月の実績より)

診療科		市民病院	医療センター
内科系	内 科	8	4
	小 児 科	1	1
	小計	9	5
外科系	外 科	4	2
	整 形 外 科	3	1
	泌 尿 器 科	2	
	脳 神 経 外 科	3	
	耳鼻いんこう科	1	
	小計	13	3
その他	産 婦 人 科	2	1
	眼 科	1	
	皮 膚 科	1	
	放 射 線 科	1	
	麻 酔 科	1	1
	小計	6	2
合 計		28	10



当直に入る医師

【加賀市民病院】

のうち、18名

【山中温泉医療センター】

10名(医師全員)

◆2病院の当直ローテーション

(H24年4月～6月の実績より)

	宿直	日直	宿日直併せて	備考
加賀市民病院	4.7回/3カ月	1.5回/3カ月	月に2.1回 (2～3回程度)	月1回、大学から宿日直の応援
	1.6回/月	0.5回/月		
山中温泉医療センター	7.4回/3カ月	1.9回/3カ月	月に3.1回 (3～4回程度)	月に5回程度、大学の救急部から宿直の応援
	2.5回/月	0.6回/月		

◆統合新病院の病院当直の想定回数

「医療提供体制基本構想」では、当直が医師1人あたり月3回以下となることを前提に必要医師数を試算

○当直医師数

内科系:15名

外科系:15名

} 当直は、2人体制を想定

○当直回数＝概ね年間489回

・宿直＝365回

・日直＝2回/週 × 52週 + 祝日等約20日/年＝124回



単純計算で・・・

医師1人あたり、32.6回/年 = 2.7回/月

月に2～3回のペース

大学からの応援が継続されれば、若干、当番回数は減る可能性あり。

◆想定される病院勤務医の負担の変化

- ① これまでは両病院ともに1人当直体制だったが、統合することにより2人当直体制になることで、相談しながら診療することもできるなど、精神的な負担軽減が期待される。
- ② 山中温泉医療センターの医師にとっては、統合後に当直の回数が今よりも若干減少し、加賀市民病院の医師にとっては、若干増加する。当直とは別に初期救急医療センターの当番に入った場合には、その当番分が増加する。
- ③ これまで市外に搬送していた救急車の受入により、診療患者が増加することが予想される。また、新病院の開院、初期救急医療センターの設置の効果による患者増も予想される。